

東大阪市 議会だより



うぐいすのまち
東大阪

No. 217

議会だより編集委員会 東大阪市荒本北一丁目1番1号

令和4年11月15日発行 電話06(4309)3294 FAX06(4309)3868 <https://higashiosaka.gijiroku.com/gikai/>

前向きになれるまち 東大阪へようこそ



「舞いあがれ 東大阪」プロジェクトがスタート

春夏秋冬

ここ東大阪から、もっと元気に。



第3回定例会

— 9月5日～9月28日 —

第3回定例会は、新型コロナウイルス感染症対策を含む令和4年度東大阪市一般会計補正予算などを可決し閉会

第3回定例会を9月5日から9月28日まで、24日間にわたって開きました。この定例会では、市長から令和4年度東大阪市一般会計補正予算（第6回）など31案件が提案され審議しました。

9月8日、9日、12日には、代表、個人合わせて11名の議員が質疑、質問を行いました。

9月12日には、令和3年度決算認定議案等15件を、決算審査特別委員会を設置のうえ、閉会中の継続審査としました。

9月28日の最終日には、住民税非課税世帯・家計急変世帯に対し、1世帯につき5万円の給付金を支給する住民税非課税世帯等緊急支援給付金支給経費等の令和4年度一般会計補正予算（第7回）が追加提案され、全会派一致で即決しました。

可決された一般会計補正予算の主な事業

定例会初日に提案された一般会計補正予算（第6回）は、それぞれの委員会に付託され審議されました。

文教委員会では、学校図書館にソファ等を整備すること、児童生徒にとって居心地の良い場所を増やすことを目的とした、不登校児童生徒等サポート事業が審議されました。整備し

た物が数年後に放置されることがないよう、整備の趣旨・意図を現場に理解してもらえよう周知し、不登校支援の課題解決に臨んでほしいという指摘がありました。

民生保健委員会では、ヤングケアラー支援事業について審議されました。ヤングケアラーのいる家庭に訪問支援員を派遣し、家事支援や育児支援を委託するものであります。ヤングケアラーについては、認知不足

であるため事業の周知を行うとともに、子どもの実態を把握しやすい学校現場と連携を図る必要がある等の指摘がありました。

環境産業委員会では、事業継続応援金について審議されました。以前に国が実施した事業復活支援金の支給を受けた小規模企業者に対して、事業活動の継続・立て直しなどのために市が追加支援金を支給するものであります。事業継続一時金の時も申請から支給まで日数がかかっているため、早急な支給を目指して体制整備を行うべきとの指摘がありました。

総務委員会では、女性に寄り添うつながりサポート支援事業について審議されました。コロナ禍の中で、孤独・孤立して不安を抱える女性のために、居場所づくりと各種相談に繋げる取り組みを実施するものであります。本事業は、成果の見えにくい、数値等では表しにくいものであります。DVや虐待等に対して大きな抑止力に繋がる大切な事業のため、国の交付金に左右されることなく、事業を継続していくべきであるとの指摘がありました。

（その他の事業については2面参照）